



©石川県観光連盟

能登の復興とこれから

「伝える」から「つながる」へ。



令和6年能登半島地震・奥能登豪雨 復興祈念シンポジウム

参加費
無料
定員200名

トコエ

2026 in大阪

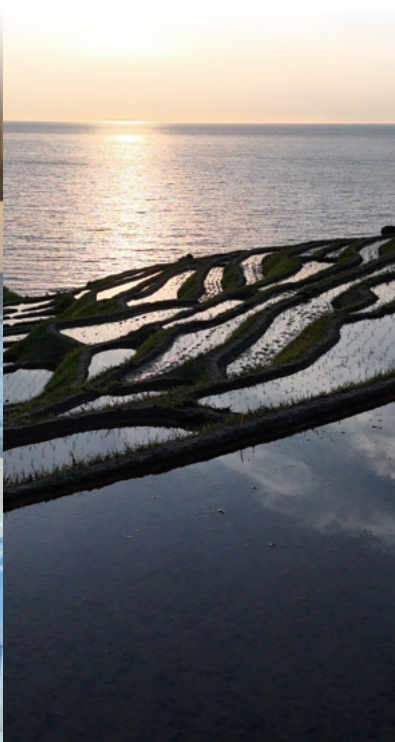
とき
2026 **8/7** **金**

●開場 / 12:30~
●開演 / 13:30~
(16:00終了予定)

ところ
グランフロント大阪
[ナレッジシアター] ○JRW大阪駅(アトリウム広場)
から徒歩約5分
大阪府大阪市北区大深町3-1北館4階



主催 / 石川県



ゲスト
常盤
貴子

PROFILE
俳優。神奈川県出身。2015年放送のNHK連続テレビ小説「まれ」の撮影をきっかけに能登へ訪れる。震災・豪雨後は炊き出しや泥かきのボランティア、「一人一花運動 in 能登半島」ではアンバサダーを務め、NHK夜ドラ「ラジオスター」への出演など能登との繋がりを大切に継続的な支援を行っている。

「伝える」から「つながる」へ。能登の復興とこれから

甚大な被害をもたらした能登半島地震から2年半、奥能登豪雨から2年が経過しようとしています。能登はいま、人口減少や高齢化といった防災前からの課題を踏まえ、関係人口の拡大や産学官が連携した取組など、未来を見据えたよりよい復興＝「創造的復興」を成し遂げるために、確実に歩みを進めています。

本シンポジウムでは、これまで全国から寄せられたご支援へ感謝を伝えるとともに、様々な立場から能登の復興に関わる方々をゲストに迎え、能登のいまの姿を「伝える」ことで、能登のこれからへと「つながる」機会となることを目指します。

第1部

13時00分～14時35分

知事基調報告

能登半島地震・奥能登豪雨からの創造的復興について報告します。

能登の高校生によるスピーチ

能登の高校生が感じ、想っていることや、地域の未来について発表します。

- 石川県立輪島高等学校
- 石川県立穴水高等学校

トークイベント

常盤貴子さんの能登での支援の取組や、一人ひとりができる能登への支援などについて、常盤さんと山野知事の対談をお届けします。

俳優
常盤 貴子



石川県知事
山野 之義

第2部

14時45分～16時00分

パネルディスカッション

復興の最前線で活躍する能登関係者や復興の専門家など、多様なメンバーが能登のいまとこれからの語り合います。能登と「つながる」ヒントとなるはずです。

【コーディネーター】
MBSアナウンサー
河田 直也



珠洲市長
泉谷 満寿裕

2006年初当選。地域のあらゆる資源を活かし市民と行政がともに取り組む「地域経営」を推進。2017年から3回にわたり「奥能登国際芸術祭」を開催。



輪島塗復興協議会 理事
ヌシヤ(株) 代表取締役
浦出 真由

石川県輪島市出身・在住。「身につける伝統工芸」をコンセプトに漆のアクセサリを展開。同協議会の理事として課題解決や人材確保などに取り組む。



和倉温泉観光協会 会長
(株)わくらす 代表取締役
奥田 一博

石川県七尾市出身。2017年、老舗旅館「和倉温泉奥田屋」代表就任。能登半島地震以降、温泉街の未来を見据えた地域一体のまちづくりと復興に尽力。



大阪公立大学大学院
文学研究科准教授
菅野 拓

大阪府出身。内閣官房「防災庁設置準備アドバイザー会議」専門委員等を務め、能登半島地震では石川県知事特命アドバイザーとして県を支援。



NPO法人阪神淡路大震災
1.17希望の灯り 理事長
藤本 真一

兵庫県神戸市出身。1.17のつどい実行委員長。能登半島地震発生後、能登キリコ祭りへの学生ボランティア派遣や「希望の灯り」モニュメント設置を支援。



俳優
常盤 貴子

展示

復旧・復興の歩みを伝える
パネル展示

「能登で進む復興プロジェクトと、新しい関わり方」
能登官民連携復興センター紹介ブース

など

当日お越しになれない方には

石川県公式YouTubeチャンネルでアーカイブ配信



本シンポジウムの映像を後日公開します。

<https://www.youtube.com/channel/UCH8nNfcRRKJV76TCT6S0qmg>

WEBフォームからお申し込みください！

【お問い合わせは】
Tel.076-262-2611

復興祈念シンポジウム受付事務局
(ケイ・シー・エス内)
○平日のみ10:00～18:00

申込期限/2026年7月7日(火)



<https://e-ve.event-form.jp/event/132549/notosympoosaka>